



「飛蚊症」とは

眼科医長 山本 敏哉



「飛蚊症」について、お話し致します。「飛蚊症」とは読んで字のごとく、虫が飛んでいるように見える症状のことを言います。実際、空を見上げていて、または白い壁や紙などを見つけていて気付かれる場合が多く、ふと何か飛んで見える、ゴミのようなものが浮かんで見えるなど色々な形で見られ、以前から時々自覚している人から突然発生したと言ふ人まで状況は様々です。

この「飛蚊症」は放つておいても大丈夫なのでしょうか？殆どの「飛蚊症」は生理的なモノで（これを生理的飛蚊症と言う）放つておいても問題の無い場合が多いのです。

が、ただ、中には網膜剥離を伴っていることがあります。そして、その見極めには眼科専門医による精密眼底検査が必要です。眼底検査はドックなど健康診断でもある程度度いますが、網膜の一部しか見ていませんので、必ず眼科における検査が重要となります。

では、なぜ「飛蚊症」が起るのでしよう？このメカニズムには、眼の中にある「硝子体」と呼ばれるゼリー状の物質に関係しています。「硝子体」は眼の中の8割を占め、眼球を丸く保つ働きや衝撃を吸収するなどの役割を担っています。決して、眼の中は空洞な訳では無いのです。そして、この「硝子体」が網膜と接している、年齢に伴う変化や外傷などにより網膜表面より外れてきます。この時、「硝子体」の中に濁りを生じて剥がれると眼の中で濁りが漂い、網膜にその濁りの影が写り込むことによって「飛蚊症」の自覚が現れるのです。ただ綺麗に網膜表面から外してくれた場合には、「飛蚊症」と言うわずらわしい自覚症状以外に何の問題もありません。しかし、時には網膜表面を傷つけて、視力に影響するほどの出血による濁りが生じたり、またある時には網膜表面に穴を生じ、網膜がはがれてくる網膜剥離と言った重症な病気に発展することがあります。よって、もし突然「飛蚊症」を自覚したときには眼の中の環境が変化したと判断し、網膜剥離の可能性を考えて一度眼科専門医

による眼底検査を改めてお勧め致します。

そして「飛蚊症」が起こってしまった場合、治らないのでしょうか？これには答えが難しいのですが、特に問題の無い生理的飛蚊症ならば、病気では無いため治す必要が無いとお話しします。手術で治せないことはありませんが、手術の危険性や費用、精神的にならなくなる場合が多いので、基本的に経過観察としています。

最後に「飛蚊症」は多くの人が自覚し得る症状で、殆どの場合は生理的飛蚊症なため心配はいりませんが、外傷後や突然の「飛蚊症」出現では何が隠れているか分かりませんので、どうぞ眼科での検査の重要性をお忘れないようお願い致します。

加えて、精密眼底検査は瞳孔を広げる散瞳薬点眼による検査となり、ボヤケや眩しさ、カスミ感が出ますので、車やバイクなどの運転がし難くなります。眼底検査希望の際は、自分での運転は控えて下されば幸いと思っていますので、宜しくお願ひ致します。



これまで職場の良い雰囲気作りに心掛けてきました。それが良い仕事への第一歩と考えます。

7/1付入職 医材センター 小林彰



7/1付入職 経理課 中村正美



7/1付入職 看護部 小泉ひとみ

品はじめまして

3年ぶりの仕事になりますが、子育てと両立しながら楽しんで働きたいです。

Q & Aコーナー

ここが知りたい！素朴な疑問にわかりやすくお答えします。

逆流性食道炎とはどういう病気ですか？

日常生活で気をつけることがあつたら教えてください。

逆流性食道炎とは、食道へ胃酸が逆流して炎症が起きることにより、胸やけ・食べ物が飲み込みにくい感じ・苦い水が上がってくる等の症状がでる病気です。他にのどがイガイガしたり、咳が続く等の呼吸器系の病気のような症状がでることもあります。

お腹を強く締め付けないこと、前かがみなどお腹を圧迫する姿勢を避けること、肥満や便秘を避けること、食後すぐに横にならないことなどに気をつけた方が良いでしょう。

胃酸の逆流が起きやすい原因

は個人によって違います。毎日の生活の中で自分にあった食生活や姿勢などを工夫していくと良いと思います。

(消化器内科医長) 宮原 直樹

Q 最近話題の3Dテレビや映画は、目に悪くないのでですか？

全ての3D映像が同一手法では無く、色々な技術によって表現されていますので一概には言えませんが、3Dの基本的な原理として、左右の眼に入れる映像のズレを利用して頭の中で立体に理解させている

7月6日(火)から8日(木)の3日間、業務終了後の17時30分～18時30分まで大ホールにて院内研究発表会が開催されました。1日4題、計12題の発表がありました。座長は1日目が岡崎センター長、2日目が高橋センター長、3日目が竹下副院長が務め、最後に竹下副院長から、見やすいスライドの作り方の話がありました。各日とも業務終了後の時間にも係らず、大勢の職員が熱心に耳を傾けました。優秀演者は、8月2日の全体朝礼にて表彰されました。



優秀演者

- 第一日目 外来
- 第二日目 透析センター
- 第三日目 健診センター

- 持田 雄子
- 山崎 史子
- 室崎奈緒美

技術と理解しています。よつて、目に入る光源としては目に悪い(網膜と呼ばれる神経に悪さをする)ことは無いと考えます。ただ、実際立体で無い映像を、頭の中で感覚的に立体として認識させる分、ストレスによる影響を考えなければなりません。適度に休みを入れながら(1時間に1回など)、疲れない程度に観賞することが大切だと判断致します。

(眼科医長) 山本 敏哉



毎日暑い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？さて、皆様7月7日といえば・・・そう！七夕ですよね。

七夕と言えば、1年に一度だけ織姫と彦星が天の川で、出会える少し切ないけど、とても好きな日。今回は、利用者様方と迎えた七夕をご紹介いたします。

7月に入り、七夕飾りを作り一人ひとり、短冊に願い事を書きました。皆様、思い思いの願い事を書かれていました。皆様の願いが、叶いますようお祈り申し上げます。

今後も、素晴らしい作品の数々をご紹介できると思いますので、ご期待下さい。最後になりましたが、8月8日に春秋園夏祭りが行われます。その様子は、次回お伝え出来ると思いますので、お楽しみに。

(3階スタッフ一同)

春秋園だより

毎日暑い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

「夕立」、「団扇」です。

続きまして、俳句の会より

素敵な作品をいくつかご紹介したいと思います。今回の兼題は「蛍」「蟻」「夏木立」

題は「蛍」「蟻」「夏木立」です。

「夕立の去りて清しく空の青」

「眠る子に母の団扇の風静か」

「昼寝する父をあおぐや
子の団扇」

「地蔵様並ぶ山裾夏木立」



「話尽きぬ三人姉妹蛍の夜」

○お問い合わせ先
牛久愛和総合病院 総務課
電話 029-873-3111(代)

日 時	14時30分から約一時間
講 師	慢性腎臓病 (CKD) 慢性腎臓病の働きと その病気について
会 場	9月10日(金) 牛久愛和総合病院 B館2階 大ホール
参 加 費	無料

『第6回 生活習慣病教室』開催します

旬をいただきます

レストラン・ザ・テラス 曽我部 浩志

2月より行っています、生活

習慣病予防のための体においしく摂つておりますのでこちらでも旬を味わうことができま

す。これから夏の暑い季節、キ

いものというのは、目にも楽しいものというには、目にも楽しいといふことが実感して頂けているのではないかでしょうか。

当店では、特に旬を感じただけるよう野菜を使った料理に力を入れるよう心がけており

ただけるよう野菜を使った料理に力を入れるよう心がけております。

7月より、メニューの内容をリニューアルし今後も月や旬ごとに少しづつ手を加えて「目に

も楽しく、体においしい!!」をモットーにお客様にはお料理をお楽しみ頂けるよう日々食材と

診断で尿検査に異常があつた

方、その他興味のおありの方は、お誘いあわせの上お気軽

にご参加下さい。

医師、各部門スタッフがあなたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。

事前予約は不要です。健康

なたの疑問にお答えします。





(鈴木)

編集だより

いよいよ夏本番となりクーラー室内外での温度差により身体が疲れやすい季節となりました。「夏バテ」しないよう健康管理に十分注意して下さい。
(M・Y)

火災避難訓練を実施致しました。今回は、患者さん協力のもと避難誘導・処置、消防隊によるはしご車での救助訓練など、より実践的な訓練を行ないました。

出火場所の担当者を中心にしてムードな対応が取れましたが、訓練のなかで様々な問題点が浮き彫りとなりました。今回の問題点は今後の課題とし、実際の対応にいかしたいと思います。

日頃の訓練の有無が実際の災害時の行動に大きく影響します。今後も火災予防に取り組み継続して訓練を行つて参ります。

6月24日、A館7階透析センターからの出火を想定した総合火災避難訓練を実施致しました。今回は、患者さん協力のもと避難誘導・処置、消防隊によるはしご車での救助訓練など、より実践的な訓練を行ないました。

6/24

七夕集会～マリアナーサリー～

七月七日

にホールで
七夕集会を行いました。

始めに年
長組が緊張
の中、提灯
を持って歌

診療科目**【一般外来】**

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)

小児科(小児循環器、小児心理)

循環器(心臓血管外科)

形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)

皮膚科(レーザー)

病院理念 「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域の皆様に最高の医療・福祉を提供する。

病院概要

病床数 504床 (一般445床 医療療養型59床)

施設

敷地 57,911 m² 駐車場 1040台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

